

9月9日は「救急の日」 小児救急について知ろう！

救急についての国民の正しい理解と認識を深めることを目的に1982年から始まりました。



小児救急の現状・・・

少子化だけど・・・

救急車の搬送が多い→その中の7割程度が帰宅できる軽症者

四日市市内の救急車は11台なので、適正利用をしないと本当に必要な人への到着時間が遅れてしまいます

2次救急医療機関(入院が可能な病院)の時間外の受診は9割以上が軽症者

救急外来を受診する前に・・・

本当に時間外受診が必要ですか？

救急車や夜間救急に行っても状況によっては長く待つこともあります。受診者が多ければ、待ち時間が長くなります。

自宅で見ていた方が良かったということもあります。病院に連れていく方も連れていかれる方も、お互いエネルギーが必要です。

こんな時はすぐに救急車を呼びましょう！

- ✓ 意識がない
 - ✓ けいれんが5分以上続く
 - ✓ 呼吸をしていない
 - ✓ 全身のやけど
 - ✓ 息をしていない
 - ✓ 異物誤飲後呼吸が苦しそう
 - ✓ 大量に出血していて止まらない
 - ✓ 頭を強く打った後に、反応が乏しい
- ※上記のものが目安です



受診時の持ち物

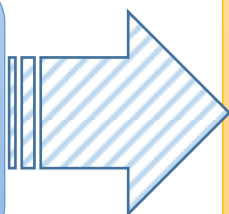
- 健康保険証
- 診察券
- 母子手帳
- 医療費受給者証
- お薬手帳
- 着替え
- オムツ(半日分くらい)
- おしりふき
- タオル(2枚程度)
- ビニール袋
- 飲み物(ミルクやお茶など)

日頃から用意しておきましょう

子どもの受診に迷った時は??

#8000や**#7119**

に電話しましょう



受診するかどうかの最終的な判断は保護者の方がしましょう

子どものことを良く知っている保護者の方が、今受診すべきだと思った時は、受診してもよいと思います。

朝まで親子ともに不安な朝を迎えませんかように・・・